

RCSB SV BOOST PE1000 スプール G1 取扱説明書

この度はRCSB SV BOOST PE1000 スプール G1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品は、PEラインの使用を前提に開発されたPE専用スプールです。本製品を正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、製品同様にこの取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

【標準 巻糸量】	PE#0.6(0.06mm)-90~180m PE#0.8(0.10mm)-75~150m
-------------	--

【使用可能機種】	・RCSBベイトキャスティングリール1000番 ゼロシャフトスプールシリーズ
----------	---

※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。 ※最新の情報はホームページをご覧ください。

注意

- ①糸が勢よく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- ②幼児の手が届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪けにつながる恐れがあります。
- ③糸が勢よく出ているときは、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。ヤケドや、指をはさんで怪けの原因になる恐れがあります。

●安全上・ご使用上の注意

注意

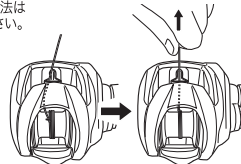
- ①本製品の組み立て、取り付けに伴いましてリールの分解が必要となります。適正な工具をご使用ください。破損の恐れがあります。
- ②落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ③リールの部品や本製品にはグリッサや油が付いているので、服を汚さないようにご注意ください。
- ④組み立て、取り付け作業後は正常動作をご確認ください。
- ⑤分解作業時の部品紛失にご注意ください。
- ⑥部品が固着している際は無理に外すとリールの破損につながる恐れがあります。ご注意ください。
- ⑦本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- ⑧本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損する恐れがあります。

●取扱い・保管上の注意

- ・海水でご使用された後は、スプール外周の水分をタオルなどで拭き取ってください。乾いて塩分が結晶化すると、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。
- ・根掛かりしたときに、スプールの指を指で押さえてラインを切ることはおやめください。スプール変形の原因になります。必ず手でラインを持って根掛かりを外すようにしてください。
- ・なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車の中、トラック、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。
- ・スプールは、落下などとのショックで変形してしまうと、スプール性能が発揮されなくなります。お取り扱いには十分ご注意ください。
- ・塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐蝕する恐れがあります。水道水を巻糸部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。
- ①シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたまま本機を扱うこともおやめください。
- ②製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ③使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
- ④弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせていただきます。

●スプールの交換方法及び、スプール取り外し方法及び、お手入れ方法はお手入れ方法

●スプールにPEラインを巻きはじめるときの結び方



- ・PEライン使用に際しては、スプール巻糸面がラインが空転するトラブルを防止するため、3回から5回程、スプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張ってもスプールから空転しないことを確認した後、巻糸を開始してください。
- ※スプール巻糸時(下巻きラインに対してと同様)にテープやシールで固定するものはおやめください。テープやシールで固定するとスプールの回転バランスが崩れ、「ブーン」、「キーン」といった異音が発生します。
- ※テープ貼付によるわずかなバランス変化もキャスト時のノイズの原因となります。

注意

※ラインを直接スプール面にしっかりと結び付けてください。結び付け方が弱い場合、スプール底面でラインがすべり、しっかりとラインを巻き取れない恐れがあります。

●PEラインキャスト時のコツ

はじめに…本製品は、PEラインを、よりトラブルしにキャストすることができるように開発されており、**PEラインの特性上、全くトラブルが無くなる訳ではありません**。使いこなされるには、「慣れ」という部分が不可欠です。あらかじめご了承ください。

- 1.最初からフルキャストをせずに、徐々に距離を伸ばしていくように心掛ける。
・その日の釣り始めの状態では、スプールに巻かれたPEライン同士がくっついていたり、下のラインに上のラインが食い込んでいたりする場合があります。
・その状態でいきなりフルキャストすると、ライン放出の妨げになり、最悪の場合はラインが高切れて、ルアーをロスすることもあります。
・ラインが食い込んだり、くっついていたりした状態をほくし、スプールによりラインが馴染んだ状態になったら、徐々にキャスト時の入力を強くしていただくことをお薦めします。
- 2.ロッドの弾力を利用して、「乗せる」キャストを心掛ける。
・コンパクトなスイングでピュッと振り切るようなキャストはトラブルの元です。スイングの初速～中盤～終盤までのスピード差を極力少なくする意識でキャストしてください。
- 3.ジャークや、シャクリ等で、ラインがフケ気味に巻かれる場合は、テンションを掛け直す。
・糸フケが多く出ている状態で使い続けると、上のラインが下のラインに食い込みやすくなります。ラインが食い込むと、次のキャスト時のトラブルに繋がります。
- 4.キャスト時の中で、ゼロアジャスターを緩め過ぎない。
・緩め過ぎると、トラブルが増えます。緩め過ぎは逆効果です。
※ゼロアジャスターの設定については、リール本体の取扱説明書の「プレーキ設定方法」の欄を参照ください。
- 5.リーダーとの結節部が、ロッドのガイドから外側に出るようになる。
・リーダーが長いと、キャスト時に結節部がガイドに絡み、高切れの原因となります。
・リーダーを長く取らざるを得ない場合は、ノット部を極力小さくすることをお薦め致します。

Q. 向かい風のときには？

A. マグダイヤル目盛を大きくして、余分なラインが出ないようにすることで、トラブルを減らすことができます。それでも、バックラッシュをしてしまうときには、はじめでゼロアジャスターを締めつけてください。

Q. ナイロンやフロロカーボンラインは使えないの？

A. 本製品はPEライン専用設計のため、PEライン以外を使用するとスプール変形のリスクや、トラブルが発生する可能性があります。ナイロン、フロロラインは使用しないでください。

●アフターサービスについて
本製品は当社の厳密な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じた修理が必要な場合はお問い合わせください。また、お買い求めの製品が、お買い求めの店舗にない場合はお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料）携帯電話からもご利用できます
ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

http://sportlifefanets.com

TEL 0120-506-204

【受付時間】9:00~17:00(土・日・祝祭日は除く)

〒190-0031 東京都立川市
砂川町8-79-1

株式会社スポーツライフプラネット